

171-0014 東京都豊島区池袋4 - 17 - 10 土屋ビル4F

AA

日本ニューズレター No.95

## AA日本常任理事会2002年上半期各委員会の報告と展望

## 出版委員会



**ビッグブック** (正式名称『アルコールクス・アノニマス』)のハードカバー版が間もなく発行されます。

今回発行するビッグブックは、2000年の翻訳改訂版をベースにし、昨年発行された第4版英語原書版で追加ないし新しくされた部分(前書きの一部、第4版序文、付録に入った12の概念など)を追加、また、日本語旧版の日本のメンバー9編の物語にプラスして新たに3編の物語を追加し、さらに日本語版の序文も入れたものです。約660ページのボリュームになります。なお、2000年版の中の統一されていなかった表記や、訳語として適切でなかったものについても改善しましたが、このことについては別途グループ宛てに手紙をお送りする予定です。

当初、印刷製本の完成が9月末の予定でしたが、作業が若干遅れ、印刷会社の都合もあって10月前半にずれ込む見通しになりました。首を長くしてお待ちになっている方もおられることと思いますが、どうぞいましばらくお待ちください。

**「AAの共同体はその規模も範囲もめざましい広がりを見せているが、その核心はいたって簡単であり、個人を主体にしたものである。今日も、世界のどこかで、一人のアルコールが別のアルコールのだれかに経験と力と希望を語る時、回復が始まっている。」**

上の文章はビッグブック第3版に寄せられた序文の最後の段落ですが、アルコールクス・アノニマスがなぜこれほどに広がったのか、なぜ多くの酔っぱらいの心をとらえたのか、その本質を端的に表しています。つまりAAの愛の手は、一対一という個人的な方法で差し伸べられるとき、苦しんでいるアルコールの心に最も良く届くということです。そして、その二人のアルコールの間にビッグブックがあれば、回復はさらに確実なものとなるでしょう。今回のハードカバー版も含め、ビッグブックが文字通りAAの基本テキストとして、多くの日本のメンバーに愛されるようになれば、「誰かが、どこかで助けを求めたら必ずそこにAAの愛の手があるようにしたい」という私たちの責任が果たされることになるのです。

皆様の愛読を心から願っております。

5月末に発行したパンフレット『ようこそAAへ』は、発行後2ヵ月余りが過ぎた現時点で既に3回増刷(合計2,800)しました。恐らく、AAの出版物類のなかでも最も早くメンバーや苦しんでいる仲間たちへ広がっているものの一つになっているようです。この「予想外の出来事」には考え

るべき大切な事柄が含まれているように思います。『ようこそAA』の大きな特徴は、AAについての分かりやすい表現と素朴でいかにも日本的なイラストですが、この二つがミックスされて、AAに来たばかりの人やいま苦しんでいる仲間への暖かくしかも簡潔なメッセージになっています。ですから『ようこそAA』の広範な広がり、その土地や国の文化や風習などを配慮し、そこに根ざす努力をしたメッセージの有効性を、さらに言えば「ローカルなサービス」の重要性を改めて示した出来事だと思われるのです。『ようこそAAへ』に刺激されて、全国のグループやメンバーがさまざまなメッセージのツールを作る機運が盛り上がることを願っています。

パンフレット『ある女性のアルコールクへの手紙』(アメリカ/カナダ評議会承認出版物、全32ページ、頒布価格250円)が発刊されました。

パンフレット『AA日本広報資料』が9月半ばに発行されます。これはタイトルどおり、専門家、関係者、メディアのかたたちへAA全般を広くお知らせする時に大いに役立つ資料です。

## 広報委員会

2002年も半分が過ぎ去り、上半期の報告と、残す半年で評議会を通じて皆様にお約束したことをどう果たしていくのかをまとめてみました。他の委員会もそうでしょうが、広報を取り巻く状況には流動的な部分があり、必ずしも当初の予定どおりに全てのことが運んでいるというわけでもありませんが、委ねられた役割を果たすべく活動させていただいております。

紙面の関係で十分な報告、説明にはならないかもしれませんが、詳細をお知りになりたい方は評議員を通じて、あるいは直接JSOにお問い合わせください。

## 1 広報誌関係

a. 「AA日本ニューズレター」は6月末現在94号まで順調に発行しています。評議会で決定されたサブテーマ「全体サービスの棚卸し」を受け、これに沿った内容を中心に構成しています。今年はこの方針で行きたいと思いますが、お知らせなどの記事もあり、その都度、工夫して発行していきたいと思っています。なお、購読数が若干ですが増えているという報告を受けております。

b. 「こちらAA」(専門家向けニューズレター)10号は6月に発行予定でしたが、まもなくお手元に届くと思います。遅れましたことをお詫び申し上げます。発行部数に変更はありませんが、評議会で決定されたとおり、今回から発送数を大幅に削減いたしました。これまで発送に使用していた名簿を各地域委員会に送付してありますので、メッセージ、専門

家協力、広報などにご活用ください。

( 病院・施設委員会参照 )

## 2 広報資料関係

a . 個別の広報資料として「workshop 2001 ニューヨーク G S Oからの贈り物」「2002年国際シンポジウム『ヴァリアント先生を迎えて』報告書」「第43回アメリカ・カナダ評議会報告書より『A Aの棚卸し』」の3冊を発行いたします。  
( 下記参照のこと )

b . 「A A日本広報資料」(ファクトファイル)は広報資料の根幹となるものの一つで、原本はアメリカ・カナダの評議会承認出版物ですが、翻訳のまま日本で使用するには内容の性格上むりがあり、日本で使用できるよう書き改め(タイトルも変更)現在ニューヨークG S Oと折衝中です。9月中には発行できる予定です。

c . 専門家との交流・広報資料代は病院施設委員会と共同で持っている予算で、各地からの要請に応じています。この予算の使途方法については別紙にて各グループ代議員、各評議員にお願いしておりますので、お尋ねください。

d . 昨年実施されたメンバーシップサーヴェイのリーフレットを発行しました。配布も一応終了しておりますが、次回のサーヴェイまで期間がありますので、もし不足が生じるようであれば増刷も考慮いたします。パネルにつきましては作成の準備中です。

## 3 マスメディア関係

a . イベント、その他の取材を通じてコンタクトのとれた、あるいはこれまで接点のあった記者、ディレクターの方々などと良好な関係を維持できるよう務めています。目先の結果より信頼関係に基づく長期的なおつきあいが肝心だと考えています。今後もこのような方針で臨んでいきます。そのような中いくつかの記事とT V放映がありました。

b . 一般書籍翻訳者へのA Aに対する理解の要請は進んでいません。方法を模索中です。

## 4 イベント関係

a . アメリカ・カナダA類常任理事ノハーバード大学医学部教授ヴァリアント先生をお迎えしての国際シンポジウムを2月に東京で開催いたしました。多数の関係者の皆さんの参加があったことをご報告いたします。

b . 9月29日に滋賀県近江八幡市で「第1回A A日本広報&病院施設フォーラムin 滋賀」を開催いたします。目的はまだA Aの活動が活発でない地方でA Aの存在とプログラムを誤りなく知っていただくために専門家をはじめとする関係者などを対象として行うものです。

以上、大まかな上半期のご報告と、下半期へ向けての展望を述べさせていただきます。ありがとうございました。

### \* 2 - a 報告書について

先日、各グループ代議員に3冊の報告書などをお届けいたしました。「A Aの棚卸し; 1993年アメリカ・カナダ評議会最終報告書より」、「国際シンポジウム報告書」、「ワークショップ; ニューヨークG S Oからの贈り物」以上の3冊です。ぜひ、多くの皆さまの目に触れるよう代議員の皆さまにお願い申し上げます。また在庫も少々置いてありますので必要な方はお知らせいただきたいと思います。それぞれの内容を少しご紹介させていただきます。

### 「A Aの棚卸し; 1993年アメリカ・カナダ評議会最終報告書より」

前号の日本ニューズレターに一部掲載いたしました。棚卸しをテーマに、アメリカ・カナダ評議会が行った報告書よ

り抜粋して翻訳したものでございます。

今年の評議会のテーマが全体サービスの棚卸しということで、何かの参考になればと思っています。経験も規模も違うとはいえ、アルコールという共通部分で考える所は大いにあるのではないのでしょうか。

### 「国際シンポジウム; ヴァリアント先生を迎えて」

今年2月、評議会の直前に開催したシンポジウムの報告です。アメリカ・カナダ常任理事会A類常任理事のジョージ E . ヴァリアント先生、同じくB類全州選出常任理事のアレック・P氏を迎え、日本からはA類常任理事の田辺等先生、平野かよ子先生、元A類常任理事の岡崎直人氏を中心に開催されました。日本各地から熱心な関係者の参加申し込みをいただき、メンバーを含めておよそ300人の熱気があふれたシンポジウムとなりました。

A Aメンバーはもちろん友人にも多大な貢献をいただき報告書を完成することができました。

周囲の関係者との話題の一つとして、資料の一つとしてご利用ご活用いただければ幸いです。

### 「ワークショップ報告; ニューヨークG S Oからの贈り物」

昨年の夏、ニューヨークG S Oのグレッグ所長、エヴァ・S国際担当の二人が中国へのメッセ・ジの途中に日本に立ち寄ってくれました。忙しいスケジュールの中ご無理を申し上げ、東京、大阪の2箇所で開催に協力をしていただきました。両所ともたくさんのメンバーが集まりステキな分かち合いが行われました。東京、大阪以外の参加できなかったメンバーに一刻も早くこの内容を伝えたいと考えたましたが、諸事情から作成に手間取ってしまいました。録音テープからの採取作業と文章の手直し作業にご尽力いただいたボランティアメンバーには御礼の申しようがないほどであります。また、秋にA O S Mからの帰国途中に、9月から前任のエヴァから業務を引き継いだビル・A が立ち寄ってくれました。同時に日本の評議員の通訳を担っていたいるダグ・Gとアメリカ・カナダ評議会の元評議員、ビル・Mも日本でのワークショップに参加してくれました。この内容についても、ぜひお伝えしたいと考えて一緒に作業を行いました。

各グループにお届けした3冊は、メンバーからの献金で賄われており、無償となっております。しかし、現実にはそれぞれ ¥200 ¥100 ¥200 の作成費用がかかっていることをご理解願いたいと思います。

そこで、今後、在庫分については必要な方に実費のご負担をお願いし、ご活用いただければと考えております。実費の計算にはボランティアの大きな貢献は含まれていません、重ねて御礼を申し上げ、ご活用の皆さまと一緒に大きな拍手を贈りたいと思います。

## 病院・施設委員会

評議会が終了した後での選挙、信任という異例の着任となりましたが、木村議長が代行していた病院・施設委員会を担当いたしました。評議会で勧告された評議会への報告を、委員会の見直し、ネットワーク構築を含め実現したいと考えています。

### 1 地方フォーラム

評議会です承された関西地域の立候補を巡り、地域の事情

から一時は断念せざるを得ない状況もあったようですが、メンバーの開催へ向けた思いが集結し、来る9月29日に滋賀県近江八幡市にて開催の運びとなりました。

A類常任理事の平野先生、元A類常任理事の岡崎氏を中心にパネルディスカッション、サービス経験者からのメッセージなど、地元の関係者に向けた広報として企画しています。(関連案内は4面に)詳細は各グループ代議員にお届けしてありますので、ご確認をお願いいたします。

## 2 地域の関係機関情報について

昨年度、専門家の皆様へのニューズレターをお届けした全国約8000箇所の関係機関の住所リストを地域別に各地域委員会にお届けいたしました。評議会です承された経費削減や送付先の見直しや確認作業を推進して行く為に各地域のご協力をお願いしております。このリストの活用法や取り扱いを各地域の評議員にご苦労いただくようお願いしており、経過の報告などが届くことを期待しています。

## 議事委員会(企画・J S O担当)

担当しているものが多く非常にスケジュールが立て込んでいます。実際に活動や、作業をしてくださっているメンバーたちに心から感謝したいと思っております。本年度の大きな目標の一つは11月2,3日に開催される「第3回全国サービスフォーラム」であります。事前に行ったアンケートには180通を超える回答が寄せられたと聞いております。サービスへの関心がこれからも広がって行くように願っています。8月12日よりすでに申し込みが開始されています。どうぞ、多くのメンバーの参加を期待したいと思っております。

(関連案内は4面に)

また、2005年に開かれる「AA日本30周年記念集会」も先は長いのですが、一歩ずつ進めて行かなければならない作業であります。7月の九州・沖縄地域ラウンドアップで第2回準備委員会(議事録は各グループ代議員に送付されています)が開かれ、ここに常任理事会議長、J S Oスタッフと子ども参加することができました。現在、決まっている「福岡地区」の開催に向け、いよいよ9月15日の地域集会で実行委員会が立ち上がる予定となりました。

これと平行して「AA30周年記念誌」編纂準備委員会が5月に立ち上がり、6月12日に第1回実行委員会が開かれました。基本コンセプトとして「日本のAAの動向を関係者やメンバーにお知らせすると共に、AA日本における一時代の変革の歴史資料として作成する;原則として20周年以降の約10年間のAA日本を対象とし、20周年誌の発行後に確認された訂正箇所や新事実については注釈をつけて対応してゆく」が確認されました。今後も定期的に編纂委員会を開催して行くので興味、関心あるメンバーはぜひ参加していただきたいと考えています。詳細はJ S Oへご連絡をどうぞ。

評議会憲章・N P O法人化についてのワークショップが開東甲信越評議員の骨折りで開催されました。議事録が作成されると聞いていますのでどうぞ、ご活用願いたいと思っております。評議会憲章は全体サービスを行ってゆく上で大切な、フェロシップ全体と常任理事会との(非公式な)合意事項で来年の評議会に草案が提出されることになっています。N P O法人化はAAのサービスを継続して供給して行くために必要なもので、社会における責任を法人として担うことができるようになり信用や信頼関係に大きく影響を及ぼすと考えます。各地域でもそれぞれの論議を深めていただければ幸いです。

## 財務委員会

メンバーの皆さまの日頃からのご理解と献金に心から感謝申し上げます。

本年度予算が評議会で承認されて早くも半年が過ぎて行きました。それぞれの委員会やJ S Oからのサービス活動に必要なお金が使われています。6月の収支報告では収入41.4%、支出40.2%(対年間予算)となっており、このままの推移が続くと、かなり(年間目標に対し730万円、昨年実績に対しても405万円)の収入不足が見込まれます。

つまり、予算を立てたサービスも実行する事ができない状況となってしまふ可能性が強くなったわけです。今なお苦しんでいる人々へのメッセージを届けるためのサービスに必要なお金を確保して行くことは私たちの責任ではないでしょうか。



この文章が届く頃には7月会計情報が送られていると思います。重ねてのお願いになると思いますが、どうぞAAの目的達成にメンバーひとりひとりが自分にできるだけの貢献をしていただきますようお願い申し上げます。

## 国際協力委員会

拝啓 全国のAAメンバーの皆様へ  
(今年も、まだ見ぬ世界の仲間に AA の原理を運ぶ「国際協力献金」支援がたくさん寄せられました)

WSM 後期評議員 野村、前期評議員 今井  
ワールドサービスミーティング(WSM)は、「まだ苦しんでいるアルコール依存症者が世界のどこにしようとも、AAのメッセージを運ぶこと」を目的に1969年ビルの提案によって設立されました。そして、「どこかで誰かが助けを求めたらそこにAAの愛の手があるようにしたい」という私たちの責任を果たしていくため、1990年のWSMで「国際協力献金」が設立され、日本のAAグループメンバーもこの活動に途切れなく協力し、今年も多くの献金がJ S Oに届けられました。1939年の春に約100人のメンバーによって発行されたピックブックは、その「国際協力献金」によって、44ヶ国語に翻訳され、現在カンボジア語、スロバキア語、インドネシア語、中国語への翻訳が進行中だと聞いています。私たちは、ビルWとドクターボブが会った時から始まった回復の原理をまだ見ぬ私たちの仲間に運ぶ喜びを特権としてハイパワーから与えられました。私は今年2月にアメリカの地域サービス集会で話しをする機会をいただきました。私が日本語で話し、それを英語に通訳し、それをスペイン語に通訳するといった方法で進行します。短い私の話しが終わりました。皆泣いているのです。AAの回復のプログラムの経験が一つの会場で三ヶ国語の言葉で飛び交って、分かち合っていることに皆感激して泣いているのです。皆様からお預かりした「国際協力献金」は、常任理事会で慎重な話し合いの下、以下の方法で送金させていただきました。本当にご協力ありがとうございました。

(献金の使途については4面に掲載)

追伸 今年のWSMは10月(6~10日)にスペインで開催されます。できるかぎり役立つ情報を分ち合ってください。私たちに分ち合ってきて欲しいテーマがありましたら、J S Oまでメッセージをお届け願います。

### 第1回広報・病院・施設フォーラム (専門家や関係者の皆さまの参加をお待ち申し上げます)

2002年9月29日(日) 滋賀県立「近江八幡・男女共同参画センター/大ホール」参加費は無料です  
 世界のAA 今日、世界のどこかで  
 一人のアルコールクが別のアルコールクのだれかに経験と力と希望を語るとき、回復が始まっている」  
 午前10時開場～午後4時30分 (終了後会場にて懇親交歓会～午後6時¥500)  
 定員200名(申し込み先着順)申し込み書は関西セントラルオフィス、JSOまでご連絡ください。  
 9月28日 午後4時より前夜の集いが開かれます。詳細は関西セントラルオフィス、JSOまで

### 第3回全国サービスフォーラム

2002年11月3～4日 福島県郡山市 「かんぼの宿 郡山」  
 『サービスのよこび』  
 午前9時受け付け開始～4日12:00 宿泊参加 ¥10,000 当日参加 ¥500  
 (宿泊定員80名、定員になり次第締め切ります)  
 お問い合わせはJSO(AA日本ゼネラルサービスオフィス)まで

### 各地の便りから

#### 九州・沖縄地域 大分地区

地元の医療技術専門学校へメッセ - ジ

「学生たちの真剣なまなざしに自分自身深く感動し、参加できたことに感謝し、とても嬉しく思った。学生との対話の中に愛を感じAA以外へのメッセ - ジの大切さを改めて考えさせていただいた。アルコール依存症への理解、AAへの関心にも何かのメッセ - ジが伝わったと思い、今後も社会とのつながりが必要だと感じた。」

#### 関東甲信越地域 地域委員会

アノニミティ小委員会

5年ほど前にある地区委員からの「最近、アノニミティが軽んじられてはいないか?もう少しそれぞれがアノニミティについて考えてみてはどうか?」という提案によって誕生した委員会?である。以下の意思確認で分かち合いを行ってきた。「方向性をつけるのはやめる。あくまでもアノニミティについて考えるきっかけ作りになる。」

いろいろな経験が分かち合われ、AAの大切な原理の一つである「アノニミティ」を意識して行くことが必要だとそれぞれが感じているようだ。

なお、この経験をまとめたものがJSOに届けられています、必要な方はお知らせください。

#### 2002年度 国際協力献金

献金総額 ¥478,374

|         |                          |    |         |
|---------|--------------------------|----|---------|
| AOSM事務局 | ¥146,000 (AU\$ 2,190.55) | 送料 | ¥ 4,000 |
| WSM事務局  | ¥120,950 (US\$ 1,000.00) |    |         |
| 国際出版基金  | ¥120,950 (US\$ 1,000.00) | 送料 | ¥ 4,000 |

#### 新設

国際協力基金 ¥ 82,474

(国際協力委員会が必要に応じ、主にアジア諸国の手助けに使う基金)  
 具体的には来春の評議会に韓国のWSM(AOSM)評議員を招く計画や他の国(フィリピン)の評議員などにも声をかけることが考えられている。  
 また、WSM評議員がメッセ - ジを届けに行くことも必要になるだろう。



#### JSOより

お詫びとお知らせ

BOX 9168月号のJSOコーナーに掲載されたグループ解散(東北地域青森地区おいらせグループ)のお知らせについて。解散の事実はなく、グループ代議員への確認作業を行わなかった事を深くお詫び申し上げますと同時に業務の正確性の再点検を行い、今後このようなことのないように注意して参る所存でございます。

おいらせグループの皆さまには心からのお詫びと今後のご苦勞に対しできるかぎりの対応をさせていただくことでお許しをいただければ幸いです。

今後、各グループの皆さまには電話による口頭での手続きに関しまして、ご無理を申し上げることが出てまいりますが、どうぞ協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## AA日本ニューズレターNo. 95

編集・発行: AA日本ゼネラルサービスオフィス(JSO) 〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル4F

TEL:03-3590-5377 FAX:03-3590-5419 ホームページ: <http://www.cam.hi-ho.ne.jp/aa-jso/>